

羅針盤



岡山大学教育学部
附属特別支援学校
進路指導委員会
令和6.3.13発行
進路情報通信No. 4

ご卒業おめでとうございます！



卒業式、皆さんはどんな気持ちでこの日を迎えているでしょうか。

小学部を卒業する3名の皆さん、中学部を卒業する6名の皆さんは、今日の「卒業」という一つの節目を経て、4月からは新たな学校生活のスタートを迎えます。同じ学校の中ですが、学部が変わると、新しい教室、新しい友達や先生との学校生活が始まり、別の場所に来たかのように感じられるかもしれません。最初は、不安もあると思いますが、今まで小学部・中学部で様々なことに挑戦し、身に付けてきた力がしっかりあるので大丈夫です。自信をもって、次のステージへ大きく一歩踏み出してください。中学部・高等部の先輩や先生が、皆さんと一緒に学習できることをとても楽しみに待っています！！

高等部を卒業する7名の皆さんにとっては、12年間の学校生活からの「卒業」です。学校生活はどうでしたか？楽しかったこと、悲しかったこと、おもしろかったこと、くやしかったこと…様々な思い出が浮かんでくるとと思います。これから社会に出ても同じです。嬉しい、楽しいと思うこともあれば、嫌だな、辛いなと思うこともあると思います。落ち込んだ時には、学校生活で共に学んだ仲間や先生のことを思い返してみてください。きっと、仲間や先生と共に過ごしてきたたくさんの思い出たちが、皆さんに元気をくれることと思います。卒業して、先生や仲間とは離れ離れになりますが、自分自身できる限りの努力をしつつ、周りの人にも力を借りながら、いろいろなことを乗り越え、成長して行ってほしいと願っています。これからもずっと応援しています。



本年度高等部卒業生の進路先を掲載しています。進む先は一人一人違います。また、どの生徒も保護者の皆様も進む先に何が待ち受けているか見通せず、不安はあると思いますが、進むと決めた進路先で、今もつ力を発揮して、自分らしく元気に進んで行ってほしいと思っています。

〈令和5年度 高等部卒業生 進路先〉

企業・事業所名	形態	仕事・活動内容
天満屋ハピータウン岡北店	一般就労	商品加工・品出し等
ういーる	生活介護	生産・創作活動等
紫雲	生活介護	生産・創作活動等
倉敷中央病院	一般就労	搬送等
多機能型事業所さくらんぼ	就労継続支援B型	室内軽作業等
吉備の里 などでしこ	自立訓練、就労移行	生活訓練、作業等
昭和町仲よし	生活介護	室内軽作業、余暇活動等

「進路を考える会」ご参加ありがとうございました！

1月11日(木)に開催した「進路を考える会」では、倉敷中央病院様、ハートスイッチ岡山南校様、クリーンメイト様から講師をお迎えし、「在学中に身に付けてほしい力」をテーマに、ご講演をいただきました。

一般就労、就労移行支援事業所、就労継続支援 A・B 型事業所／生活介護事業所、それぞれの視点からご講演いただきましたが、共通した話題として、「お子様が自分の力で挑戦できる機会を作ってあげてほしい」という内容がありました。私たち教員もハツとなる話でした。振り返るとこちらが手を貸し過ぎてしまっている場面がいくつも浮かんでしまいます…「だって、その方が早く終わるし、お互いに楽し…」と言いたくなるのですが、それで本当にお子様自身の力となっているのか!?というところですね。自分でできるようになるには、自分で挑戦する機会を作ってあげないといけないですし、その挑戦が最大限に有意義なものとなるようサポートする側の努めであると改めて感じました。…とは言え、先行きが見えない挑戦に付き合うのは、サポートする側の苦勞も多々あると思います。「今から10分はとことん子どもの挑戦に付き合おう!」、「午後のこの時間だったら、〇〇に挑戦する時間があるかも!」などと、先の見通しをもちながら関わることで、心の余裕も生まれるかもしれません。お子様が様々なことに挑戦する経験を重ねていくことができるよう、今後も一緒にお子様のサポートをしていきましょう。

アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者の皆さんからのご意見も参考にしながら、来年度の「進路を考える会」がより良いものになるよう準備を進めていきたいと考えています。多数のご参加、本当にありがとうございました!

中学部 作業週間頑張りました!

中学部では、卒業後の就労に向けて、根気よく継続して作業に取り組んだり、自分の役割を果たしたりすることを目標に、1月31日(水)～2月2日(金)の3日間を作業週間として過ごしました。作業週間では、午後も午後も作業の時間になり、普段より長い時間作業に取り組むことで、じっくりと「働くこと」を学んでいくことができるようにしています。始まる前は不安があった生徒も、一日の流れに見通しがもてたり、自分にできることが増えたりしていくことで、自信をもって作業に取り組み、大きな声で報告ができるようになる姿が見えました。今回の作業週間を通して「働くこと」のイメージを大切に、高等部進学や就労に向けて、自信をつけていってほしいと願っています。

<総合サービス班>



<工芸班>

